

対象機種	BFE4151-16CL-PA9 BFE4151-22CL-PA9	BFE4151-16PP-PA9 BFE4151-22PP-PA9	BFE4251-16CL-PA9 BFE4251-22CL-PA9	BFE4251-16PP-PA9 BFE4251-22PP-PA9
適合ランプ	東芝高周波点灯専用蛍光ランプ FHF32 東芝蛍光ランプ FLR40S(/36), FL40S(S/37)			
電源電圧、周波数	100~242V、50Hz/60Hz 共用			
防爆記号	Ex de II BT5			
検定合格番号	第 TC16364 号		第 TC16365 号	
オプションガード (別売) *	BFE41G		BFE42G	

*当製品は IEC 整合耐圧防爆蛍光灯製品のため、標準製品ではガードは取付けておりません。ガードの取付けをご希望の場合はオプション (別売) となります。

このたびは東芝耐圧防爆形蛍光灯器具をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
この取扱説明書は同種類の器具と共通となっておりますので、お求めの器具と姿図が違っている場合があります。
●素人工事は法律で禁じられております

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損傷を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

■工事店様へ

施工上のご注意

●工事が終了しましたら、この取扱説明書は必ずお客様へお渡しく下さい。

<p>危険 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。</p>	
<p>●器具の取付場所は発火度 T5 の範囲で「第 1 種危険場所」及び「第 2 種危険場所」に使用できます。 (危険場所の判定、範囲は工場電気設備防爆指針によること。)</p> <p>●器具の取り付けは取扱説明書に従ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災、爆発 (爆発性ガスが危険雰囲気を生じた場合。) の原因となります。</p> <p>●器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。落下、感電、火災、爆発 (爆発性ガスが危険雰囲気を生じた場合。) の原因となります。</p>	<p>●アース工事は工場電気設備防爆指針・電気設備の技術基準に従い確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。D 種 (第三種) 接地工事</p> <p>●この器具は、腐食性ガス雰囲気場所には使用しないでください。そのまま使用しますと、変質、変色、絶縁不良、器具の落下の原因となります。</p> <p>●この器具は、振動の激しい場所には使用しないでください。そのまま施工されますと、器具落下の原因となります。</p>
<p>注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。</p>	
<p>●器具 (電子安定器) の定格電圧と電源電圧 (定格±6%) ; 使用地域の周波数は、器具の取り付けの際に必ず確認ください。間違えて使用しますと、ランプの短寿命、電子安定器などの損傷、火災、爆発 (爆発性ガスが危険雰囲気を生じた場合。) の原因となります。</p>	<p>●周囲温度は、5℃~40℃以外では使用しないでください。火災、爆発 (爆発性ガスが危険雰囲気を生じた場合。) の原因となります。</p>

■お客様へ

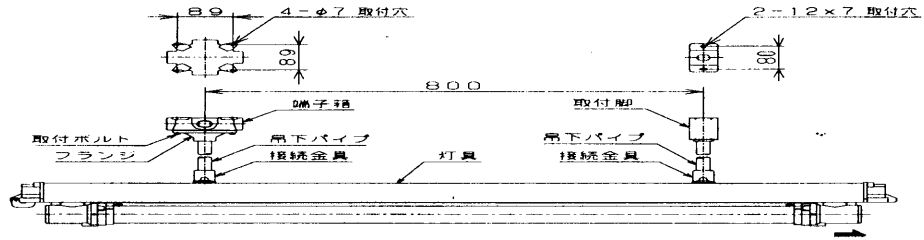
使用上のご注意

●お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

<p>危険 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します</p>	
<p>●ランプ交換やお手入れの際は、取扱説明書に従って行ってください。落下、感電、火災、爆発 (爆発性ガスが危険雰囲気を生じた場合。) の原因となります。</p> <p>●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。周囲に爆発性ガスが存在していないことを十分確認の上行ってください。電源を入れたままランプ交換を行うと感電、爆発 (爆発性ガスが存在するとき) の原因となります。</p>	<p>●ランプ交換の際は、必ず本体表示並びに取扱説明書通りの種類・ワット (W) 数の適合ランプをご使用ください。適合ランプ以外をご使用の場合は不点の原因となります。</p> <p>●ソケットカバー蓋の取り付けが不完全な状態で使用している場合には、爆発 (爆発性ガスが危険雰囲気を生じた場合) の原因となります。</p>
<p>注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。</p>	
<p>●器具を清掃する際は、布を中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭きとってください。</p> <p>●金属部分をクレンザーやたわしで磨かないでください。傷つけたり、腐食の原因となります。</p> <p>●器具をガソリン・ベンジン・シンナーなどの薬品で拭いたり殺虫剤をかけないでください。塗装が変色、剥離などの原因となります。</p>	<p>●この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、環境により異なりますが約 10 年です。(定期的に工場電気設備防爆指針の防爆電気設備の保守等による点検を実施してください。)</p>



■各部のなまえ



■器具の取付けかた

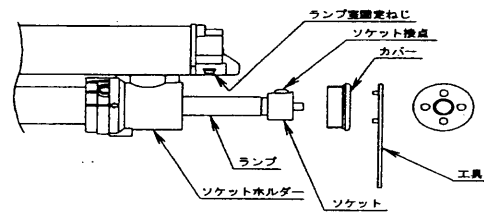
- 端子箱・取付脚は所定の位置にM6 ボルト、ナットなどを使用して器具を固定してください。
ランプ取付、ランプ交換はソケットカバー蓋を外してから行うため、器具端部の間隔及び器具と器具の間隔を1500mm以上あけてください。
- 端子箱の配管には厚鋼電線管 (G16 または G22) を使用し、JIS B 0202 の管用平行ねじを施し、ねじ有効部分で5山以上結合させ強く締付けてください。(工場電気設備防爆指針を参照)
屋外に設置する場合はねじ結合部分の防水、防錆処理をしてください。
- 端子箱に電源線、アース線を引き込んでください。
- 器具からの口出線を吊下パイプ (フランジ付) に通し、吊下パイプを器具の接続金具に取付けます。もう一方の接続金具にも吊下パイプを取付けてください。
- 端子箱に電源線、接地線を引き込んで、電源線は口出線と結線を行い結線箇所はテーピングなどで完全に絶縁処理を行ってください。接地線は端子箱の接地端子にねじ止めしてください。
- フランジと端子箱を六角穴付ボルトで確実に締付けてください。

- 取付けに不備がありますと落下の原因となります。
- 口出線の結線が不完全な場合には、接触不良による電源線、口出線の焼損の原因となります。
- 屋外に設置する場合、端子箱と電線管ねじ結合部分の防水処理、防錆処理が不完全な場合は端子箱に浸水し絶縁不良による発熱の原因となります。
- アース線の接続が不完全な場合には、感電の原因となります。



■ランプの取付けかた (交換のしかた)

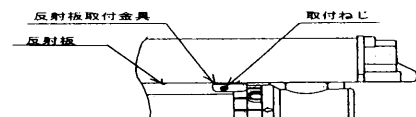
- 器具の電源が切れている事を確認して下さい。
- ランプ交換用の工具を使用し、カバーをはずして下さい。
(回転禁止のシールが貼ってある方は開けないで下さい。不点や接触不良の原因になります。)
- ソケットのつまみを持ってランプを引き出して下さい。
- ソケットに新しいランプをはさみ込み、ソケットホルダーの接点とソケットの接点を合わせるようにしてランプとソケットを挿入します。
- 工具を使用しカバーを元通り取り付けてください。
- 交換スペースが狭くランプが抜けない場合、ランプ室固定ねじ (2本) を外しランプ室を傾斜させランプを交換する事ができます。
交換後は電線を挟まないように注意して固定ねじ2本を締め付けてランプ室を閉じて下さい。



■反射板の取付けかた

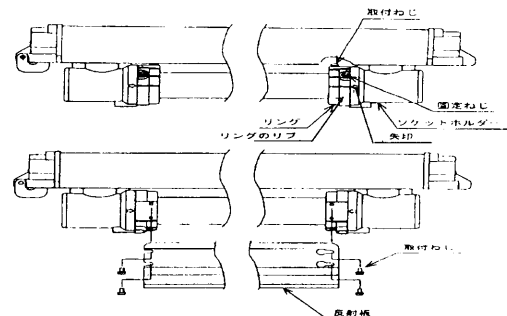
1 灯用の取付け方

- 両サイドの反射板取付金具の取り付けねじをゆるめて下さい。
- 反射板取付は、取付けねじを締付けてください。反対側も同様に取付けて下さい。



2 灯用の取付け方

- 両サイドのリングにある固定ねじをゆるめてリングを手前に回転させて下さい。
- 両サイドのリングの取付けねじをゆるめて反射板を差し込み、取付けねじを締め付けて下さい。両サイドのリングが同時に回転するか確認して下さい。
回転しにくい時は、取付けねじをゆるめた状態で回転する事を確認して締め付けて下さい。
- 両サイドのリングを回転させ、リングのリブとソケットホルダーの矢印を合せて固定ねじを締付けて下さい。同様に反対側も取付けて下さい。



修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

フリーダイヤル
☎ 0120-66-1048

受付時間：365日 9:00～20:00

携帯電話・PHSなど 046-861-6485 (通話料：有料)
FAX 0570-000-661 (通信料：有料)

・お客様からご提供いただいた個人情報、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

東芝ライテック株式会社 施設・屋外事業部 〒237-8510 神奈川県横須賀市船越町1-201-1 TEL (046) 862-2092 FAX (046) 861-8796

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

(0050062B)